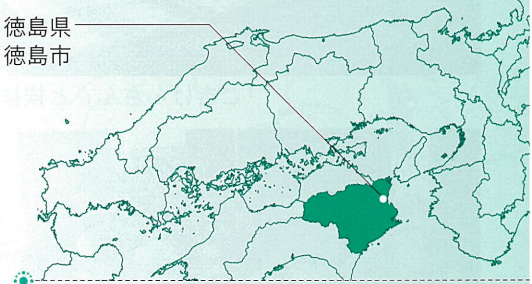


地域の子どもたちを 健やかに育てる「寿ルーム」

徳島県徳島市 老人クラブ寿会

● 会員数 106名（男性26名、女性100名）

2002年に富田小学校の先生から、「最近、高齢化と同時に核家族化が進み、子どもたちが家庭内で高齢者とふれあう機会が少なくなり、高齢者のことを理解できない子どもたちが多くなってきた」とのことから、総合的な学習の時間を利用して寿会の皆様と交流させていただく中で高齢者理解を進める指導をしていきたい」との相談がありました。さっそく役員会で話し合った結果、地域の子どもたちを健やかに育てる活動をする中で、自分たちも子どもから元気をもらおうということになり、全員一致で賛成して、活動が始まりました。



徳島県
徳島市



入り口には「寿ルーム」

「寿ルーム」の開設

コマ、竹とんぼ、折り紙、けん玉など昔の遊びを通じて、小学生と当寿会の高齢者がふれあうこの教室は「寿ルーム」。小学校が教室を日常的に老人クラブへ開放するという、県内でも珍しい取り組みの一つです。2005年の開設から10年が過ぎ、地域に根ざした世代間交流の場として定着しています。戦争体験の講演や下校時の見守りなど、寿会が小学校で子どもの健全育成活動に力を入れ始めたのは2002年ごろ。熱心な取り組みに感心した当時の校長が2005年4月、子どもたちと交流しやすいようにと、教室の一つを「寿ルーム」と名付けて寿会に開放したのです。

寿ルームにはお手玉、竹とんぼ、糸巻き車、けん玉など懐かしい遊び道具がずらり。屋外で遊べない雨の日は、教室に入りきれないほどの子どもたちが押し掛ける人気ぶりです。

寿ルームでの活動はあくまでも学校教育のサポートで、先生の負担になるようでは本末転倒です。10年以上にわたって続く寿ルームを通じて、その間に寿会と小学校が築いてきた信頼関係の根っこは、こうした活動理念が

小学校と連携した活動

富田小学校における具体的な活動は次の四つです。

1. 通学路の巡回

児童が安全に下校できるように、毎週火曜日の午後2時50分から約1時間巡回しています。

2. 寿ルームで、小学校の休憩時間に昔遊びを指導

火曜日から木曜日まで午前10時20分～40分までの20分間の休憩時間に、毎日交代で

あるのです。

お手玉を中心に昔遊びを指導しています。

3. 小学校4年生と「総合的な学習の時間」で1年を通じた交流

戦争体験の話などの対話集会、子どもたちの発表会と寿会の出し物での交流、物作り指導など（年4回程度）。

4. 小学校1年生の「生活科の時間」に昔遊びを指導

これからの活動に向けて

これからの活動展開に向けては、次のことを課題として進めて行く所存です。

(1) 寿会員の高齢化が進み、年を追うごとに、活動が始まった当時のような活動の継続が難しくなっている。

全国の老人クラブが抱える新規加入者の伸び悩みや会員の高齢化という課題に当会も直面していて、寿ルームの活動も大きな曲がり角に差し掛かりつつあります。「寿ルーム」の指導者が少なくなり、平成25年から婦人会に協力いただいています。

(2) 学校協力の援助活動であることを常に念



みんなで遊ぶコマ回し

頭において活動する。

活動が、学校の教育活動の負担、特に精神的な負担にならないように気をつけて、先生方が安心して子どもたちを任せ、てくださるような対応をしています。

(3) 児童の安全を最優先して活動する。

「昔遊び」の道具等も、危険な物はないか、つぶさに観察して改善していくことが必要です。

(4) 対象とする子どもの年齢層を広げる。

現在は小学生を対象としていますが、幼稚園、保育所の子ども、ひいては中学生にも関わっていけないかと模索しています。

(会長 小澤俊明)



女性会員の手元を熱心に見入る子ども